

最近の経済動向

平成28年2月号

(平成27年12月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

【需要動向（消費・投資）】

- P 1 ■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
百貨店・スーパー販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設～ 下げ止まりの兆しがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事～ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を下回った
輸出入額

【生産動向】

- P 5 ■生産活動～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産～ 負債総額は増加したが、件数は減少した
企業倒産件数
負債総額

【雇用動向】

- P 7 ■求人・求職～ 改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

【物価動向】

- P 8 ■物価～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

【企業情報】

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

【地域の経済動向】

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

【景気動向指数・全国の景気】

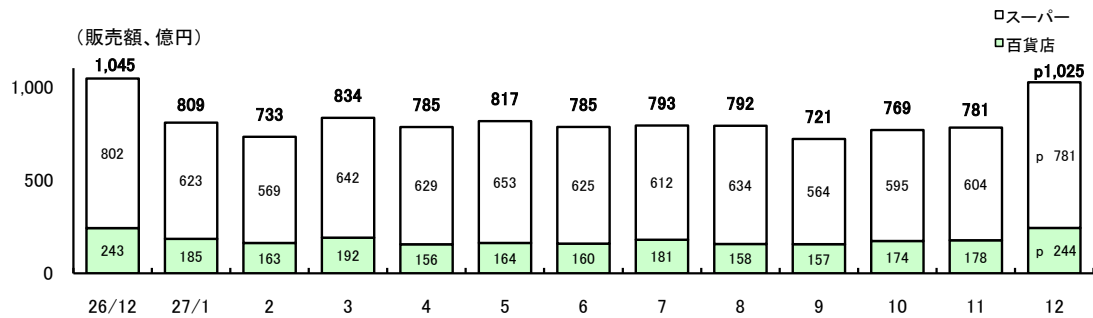
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

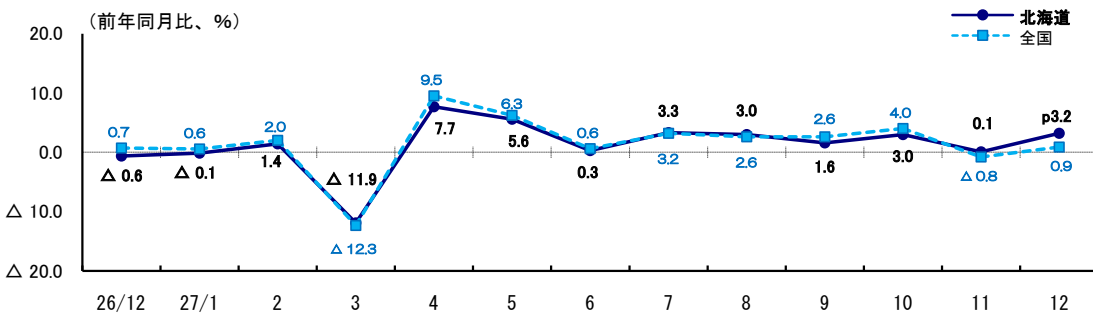
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(12月)◆

百貨店・スーパー販売額は、1,025億円で前年同月比3.2%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。



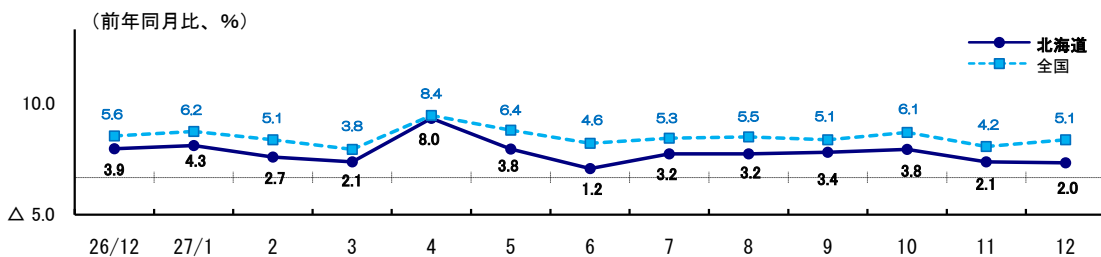
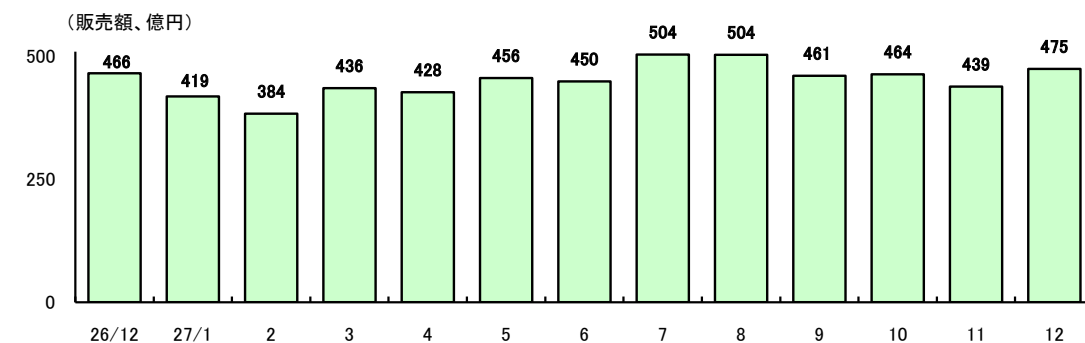
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(12月)◆

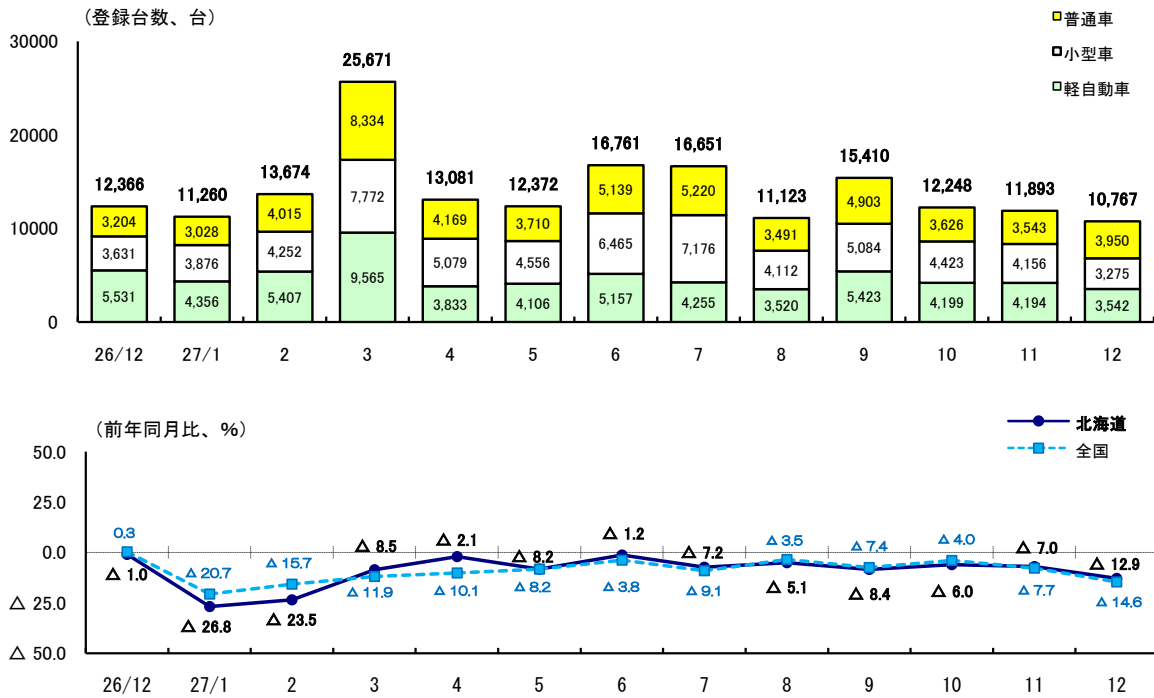
コンビニエンスストア販売額は、475億円で前年同月比2.0%の増加となり、27か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（12月）◆

新車登録台数は、10,767台で前年同月比12.9%の減少となり、21か月連続で前年を下回った。

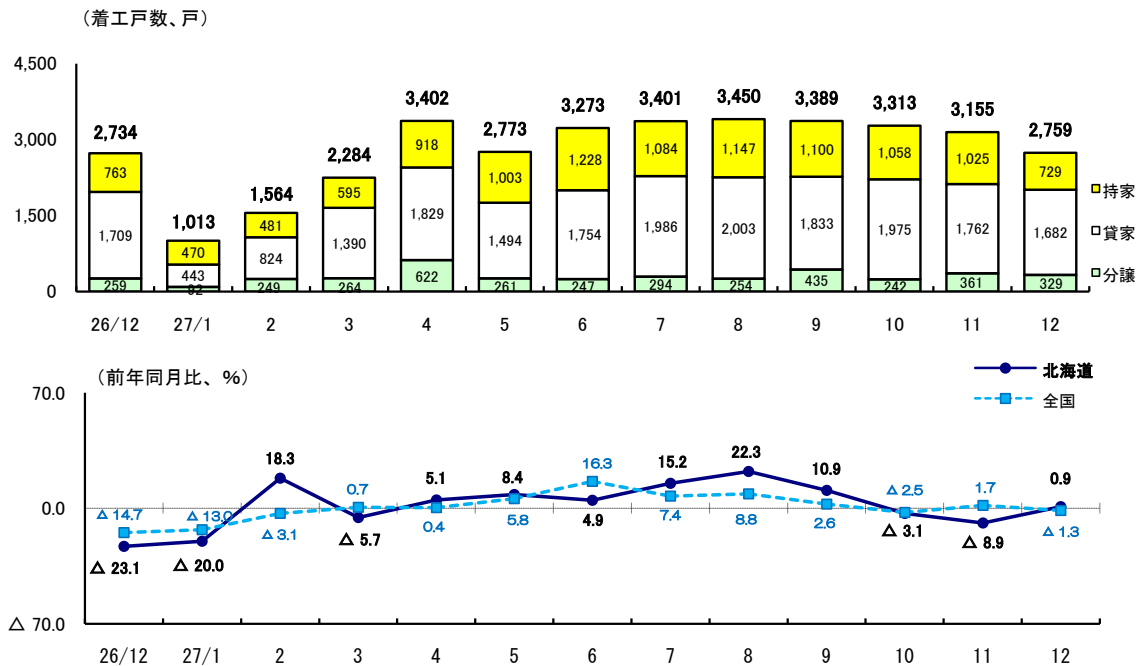


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ～下げ止まりの兆しがみられる

◆新設住宅着工戸数（12月）◆

総戸数は、2,759戸で前年同月比0.9%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。

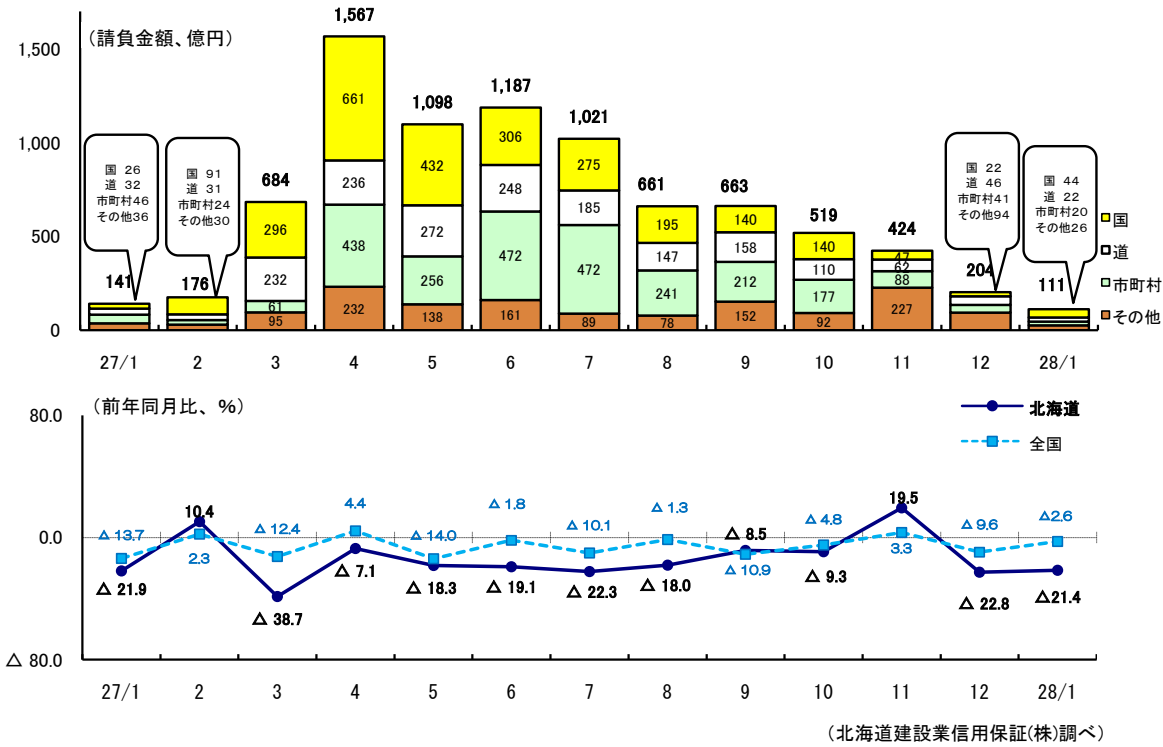


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事 ～ 減少している

◆公共工事請負金額（1月）◆

請負金額は、111億円で前年同月比21.4%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



■観 光 ～ 改善している

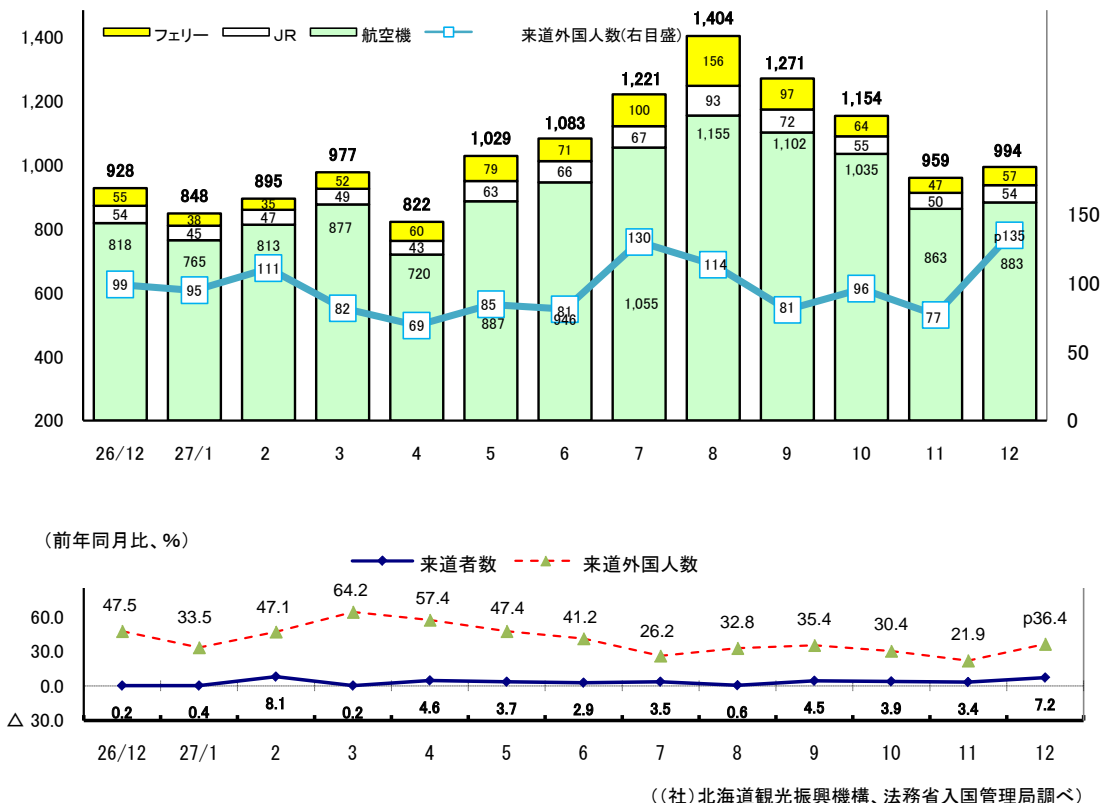
◆来道者数（12月）◆

来道者数は、99万4千人で前年同月比7.2%の増加となり、14か月連続で前年を上回った。

本道に直接入国した外国人は、13万5千人で同36.4%の増加となり、35か月連続で前年を上回った。

(来道者数、千人)

(来道外国人数、千人)

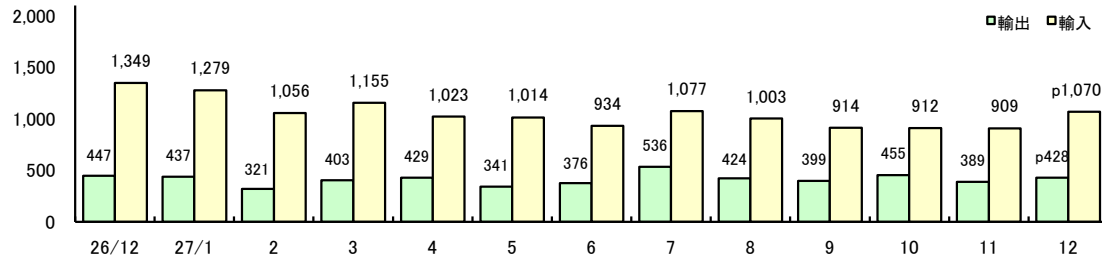


■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

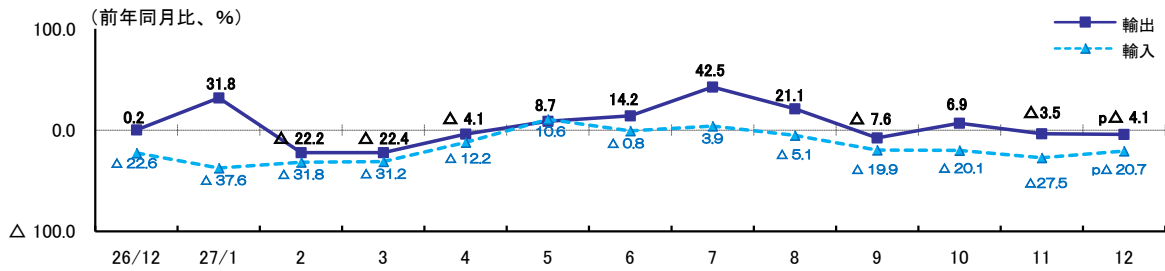
◆輸出入額（12月）◆

輸出額は、428億円で前年同月比4.1%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。
 輸入額は、1,070億円で同20.7%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。

(輸出入額、億円)



(前年同月比、%)



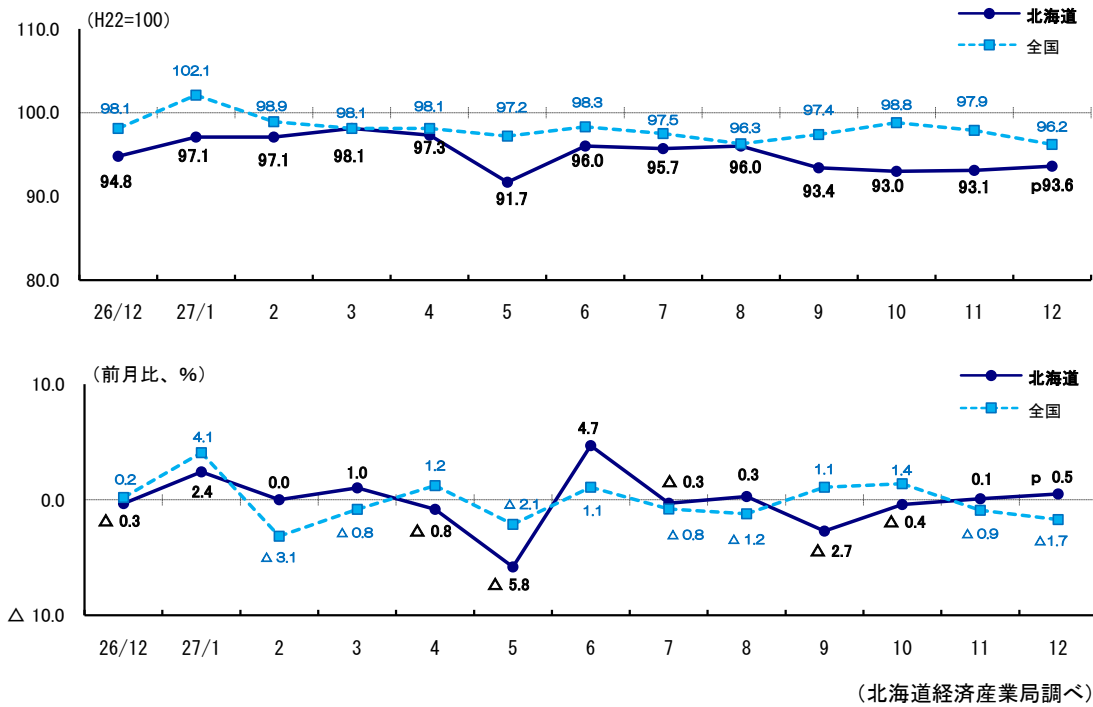
(財務省、函館税関調べ)

[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（12月）◆

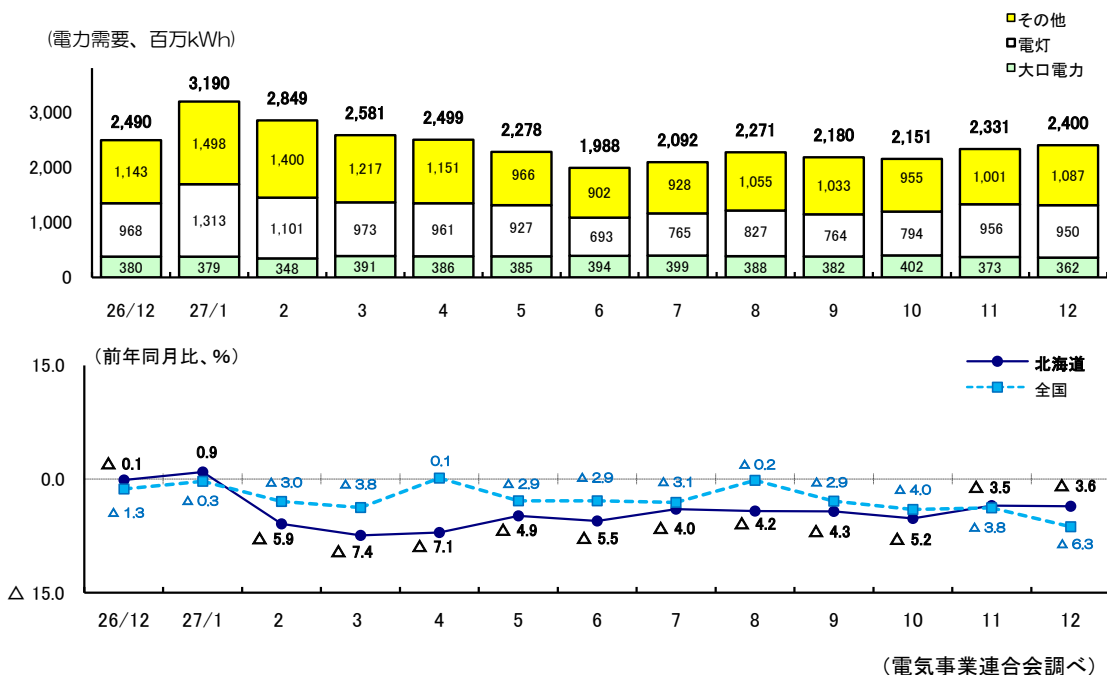
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.6で前月比0.5%の上昇となり2か月連続で前月を上回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（12月）◆

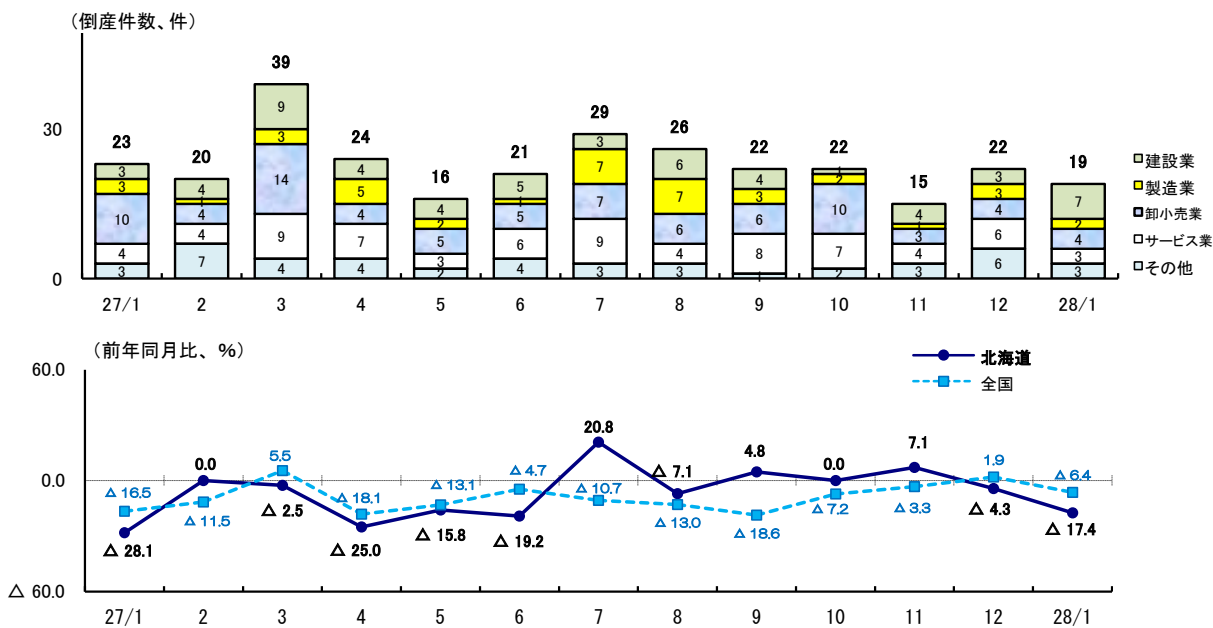
電力需要は、2,400百万kWhで前年同月比3.6%の減少となり、11か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 負債総額は増加したが、件数は減少した

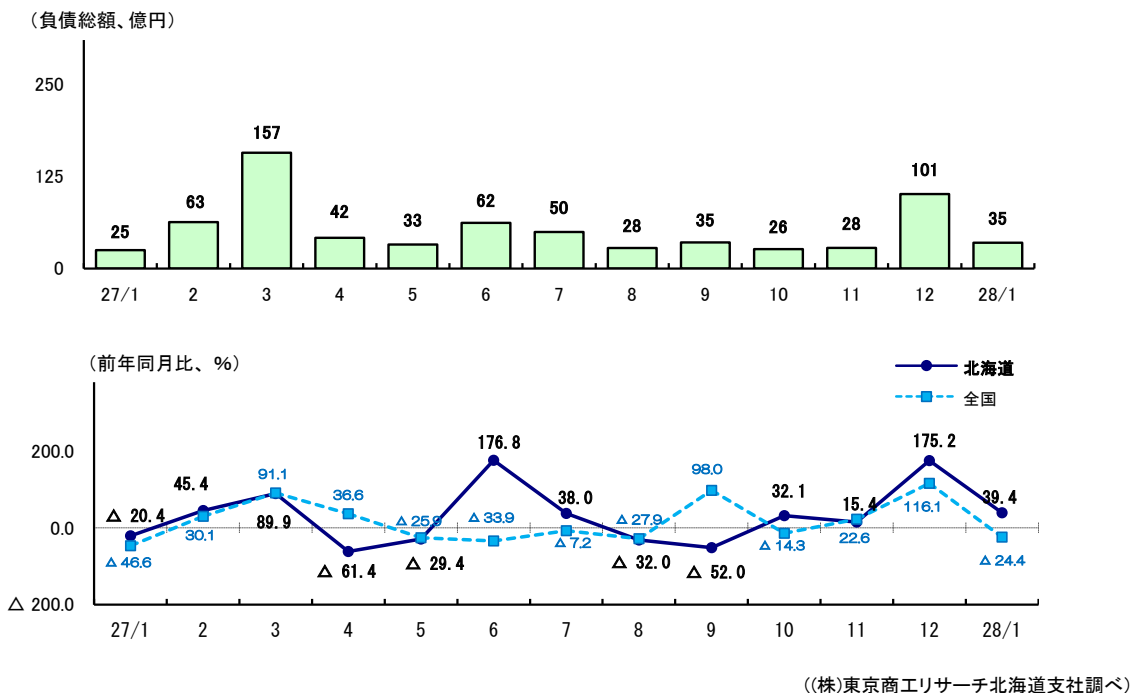
◆企業倒産件数（1月）◆

企業倒産件数は、19件で前年同月比17.4%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



◆負債総額（1月）◆

負債総額は、35億円で前年同月比39.4%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

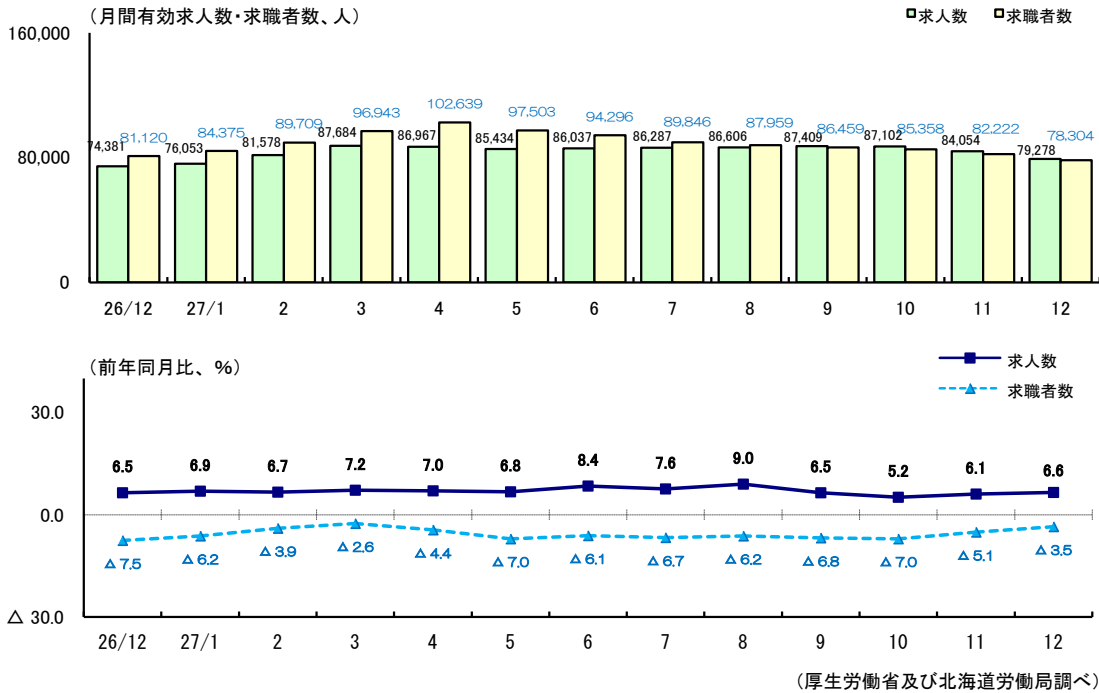


[雇用動向]

■求人・求職～ 改善している

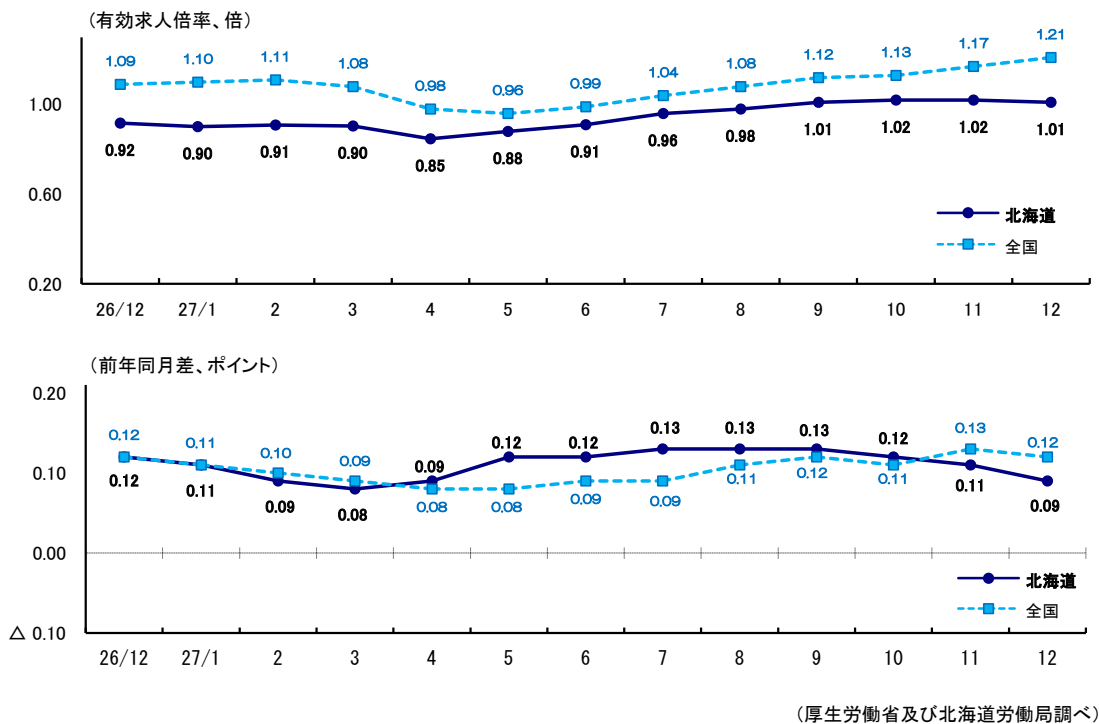
◆月間有効求人数・求職者数（12月）◆

月間有効求人数は、7万9,278人で前年同月比6.6%の増加となり、71か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、7万8,304人で同3.5%の減少となり、50か月連続で前年を下回った。



◆有効求人倍率（12月）◆

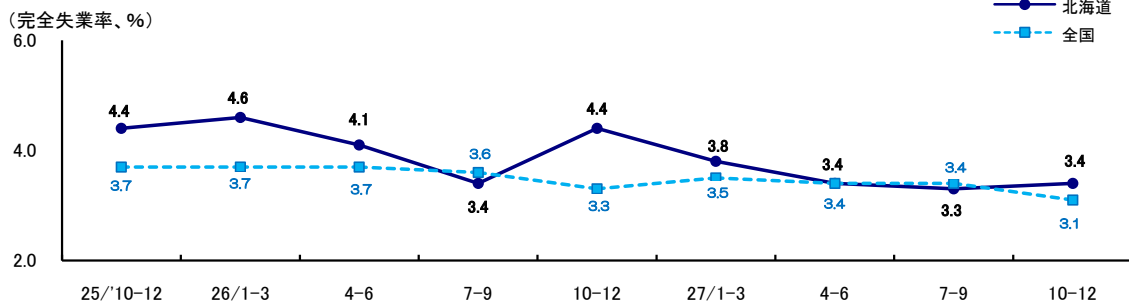
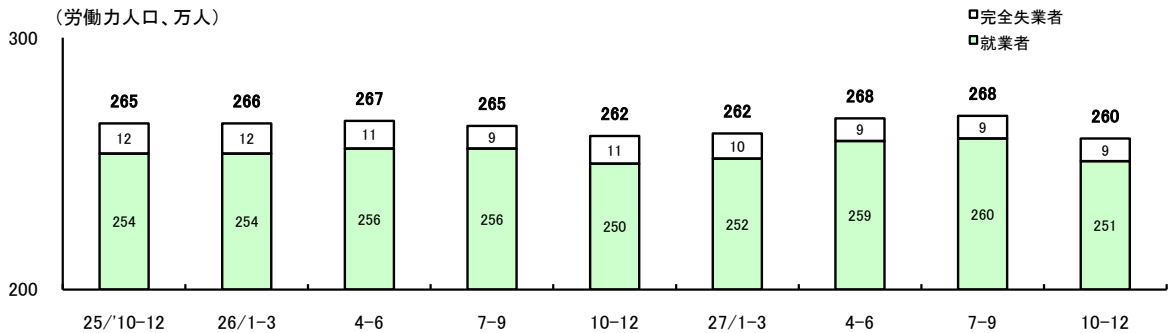
有効求人倍率は、1.01倍で前年同月差で0.09ポイントの増加となり、71か月連続で前年を上回った。



■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年10-12月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と比べ2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.4%で前年同期から1.0ポイント低下した。



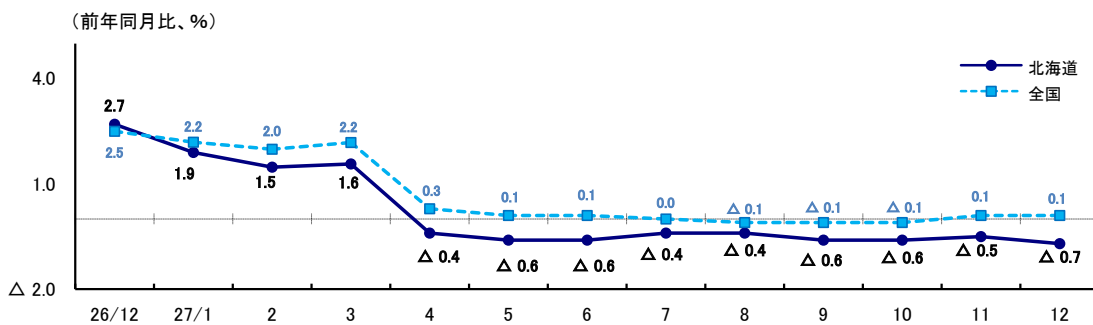
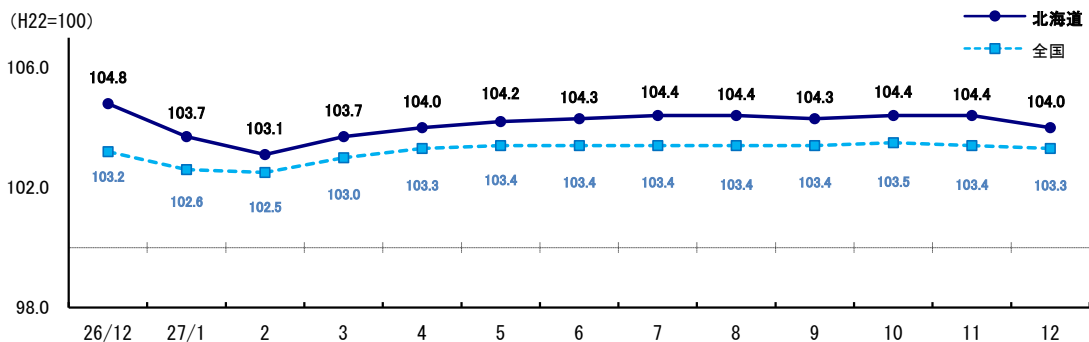
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（12月）◆

消費者物価指数は、104.0で前年同月と比べ0.7%の低下となり、9ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【暖冬の影響で伸びない売上】

暖冬が続いていることから、冬物婦人服などの主力商品の動きが悪く、1月に入りセールを開催することでようやく売れるようになったが、値引き販売となるため、売上利益率が下がってしまう。

売上については、下旬にインバウンドの売上が伸び、昨年同期と比較して横ばいとなったが、依然として厳しい状況にあることに変わりはないことから、今後は、インバウンドの取り込みや上客の購入意欲を引き出すような商品提案などに取り組んでいきたい。

【インバウンドの動向に変化】

インバウンドによる購入品目については、ニーズの変化により、いままで主流だった高級時計から、国産の高級化粧品に売れ筋が変わってきている。化粧品については、商品単価が安い分、1人あたりの売上は落ちているが、インバウンドの来店数が増えていることから、安定した売れ行きとなっている。

◆スーパー(道央圏)

【正月食材は堅調】

1月は、日曜日が昨年より1日多かったことによる来店客数の増加や、生鮮食品など商品単価の上昇により、売上は前年と比べてプラスとなった。

特に、正月用として単価の高い刺身盛り合わせやすき焼き用の牛肉などの販売数が伸びたほか、お寿司やオードブルなどのデリカの売上げが好調だった。

ただ、お正月用の需要が一巡した後は、手頃な価格の商品が売れ筋となるなど、メリハリのある消費行動がみられた。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

1月は、中旬の悪天候の影響により来客数は減少したものの、客単価が上昇したことで売上げはほぼ前年並みであったが、公共工事や道路の除雪作業の減少により、深夜から早朝における需要が低下している地域があった。

また、外国人観光客の増加にともない、特にホテル周辺や観光地において売上げが好調となっている。

◆大型小売店(十勝圏)

【ピークから半減した売上高】

昨年の売上も、バブル期と比べればかなり減少しており、特に衣料品部門への影響は大きい。設備投資に関しては、このような不透明感の強い状況では、慎重な対応が必要であり、コンプライアンス対応を最優先課題と置き、各種の計画を進める形である。

また、消費者は所得の大きな伸びの無い中で、消費税8%の影響などから生活必需品以外で無駄なものの支出を抑える生活防衛型となっており、値がさの張る冬物衣料の購入が先延ばしされているものとする。

総じてみると非常に厳しい状況が続いており、今後についても、消費税10%の導入などが控えていることから、売上を伸ばす商品構成などについて、検討を進めていくこととしている。

【インバウンドの傾向】

十勝圏では、温泉などの観光地での宿泊はあるが、観光スタイルは通過型と言われており、インバウンドが観光バスで乗り付け、買い物をする爆買現象は見られず、売上に占める割合も少ない状況である。

インバウンドの積極的な呼び込みについては、費用対効果の面から難しい所もあるが、通訳の対応など、来店されたインバウンドに不便をかけさせないための取組は行っている。

【コスト増への対応】

電気料金については、電気料金改定により大幅な経費増となったため、消費電力が少ないLED電球等への入替や電力会社を変更することで対応しているが、値上げ分を消化しきれない状況にある。

◆農業用機械製造業(十勝圏)

【売上は堅調に推移】

売上については、人件費の上昇や円安による原材料の価格上昇など、厳しい経営環境にあることから、やむを得なく製品や修理費の値上げを行ったが、主力商品である「ハーベスタ（収穫機）」や「スプレーヤ（防除機）」の売れ行きが好調のため、全体としては堅調に推移している。昨年末は補助金等の影響もあり売上が増加したが、今後は、厳しさは残るものの比較的堅調に推移するものと考えている。

【メンテナンス体制の整備】

部品の交換サイクルが伸びつつあるが、部品の単価増などで売上に占める修理費の割合を維持している。長い間、安心して機械を使っていたため、メンテナンス体制を強化し、現地にサービスマンを派遣するなど、今後は、当部門にも力を入れていきたい。

【営業力の強化を図る】

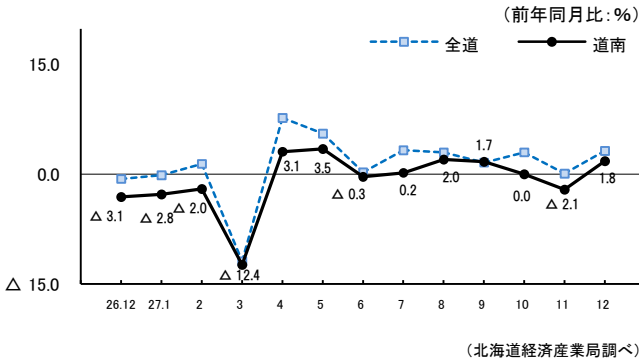
今後は、TPPなどの農業を取り巻く環境変化や顧客の要求に的確かつスピーディーに対応するため、今まで以上に営業力の強化に努めるほか、様々な支援制度を活用した積極的な設備投資を実施するなど、北海道に根ざした企業としての役割を十分に果たしていきたい。

[地域の経済動向]

■道南圏

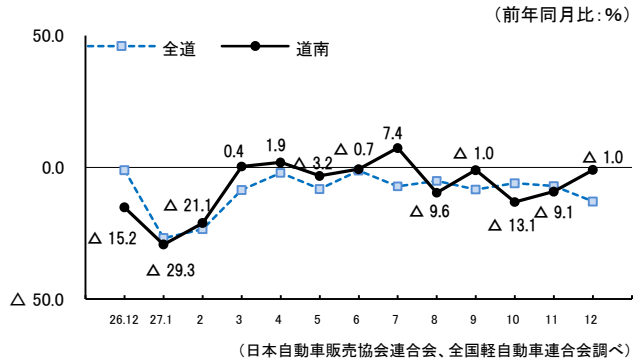
◆百貨店・スーパー販売額(12月)◆

(全店、函館市)
3ヶ月ぶりに前年を上回った



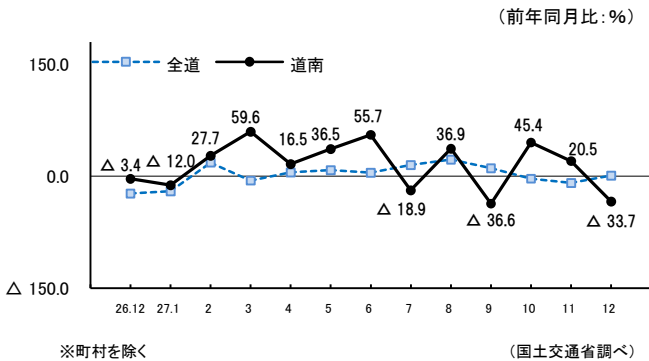
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

5か月連続で前年を下回った



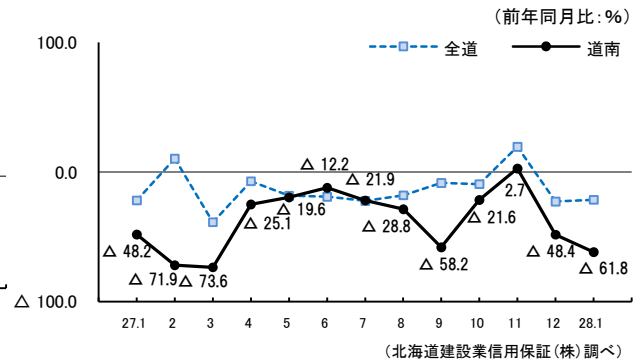
◆新設住宅着工戸数(12月)◆

3か月ぶりに前年を下回った



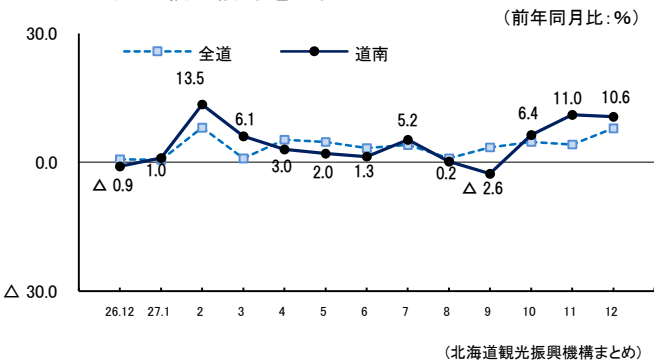
◆公共工事請負金額(1月)◆

2か月連続で前年を下回った



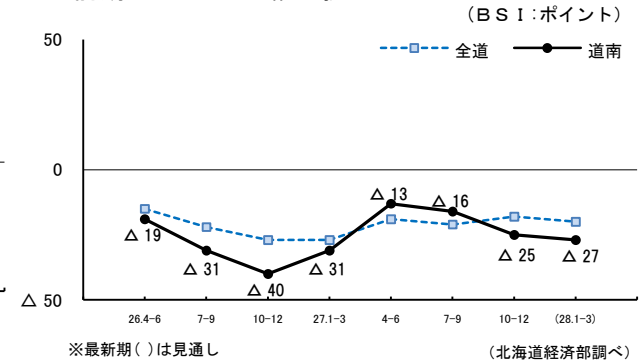
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

3か月連続で前年を上回った



◆企業の業況感(10-12月期)◆

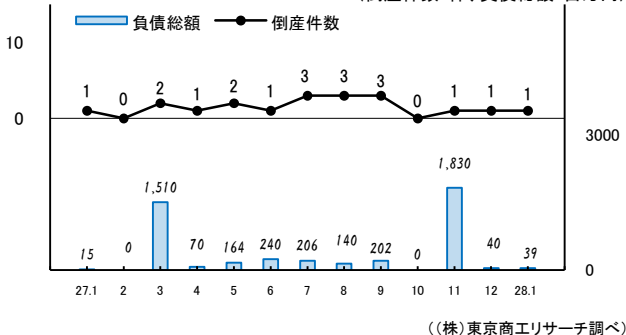
前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

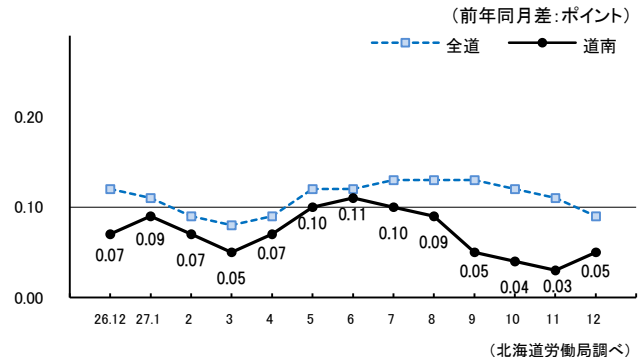
10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(12月)◆

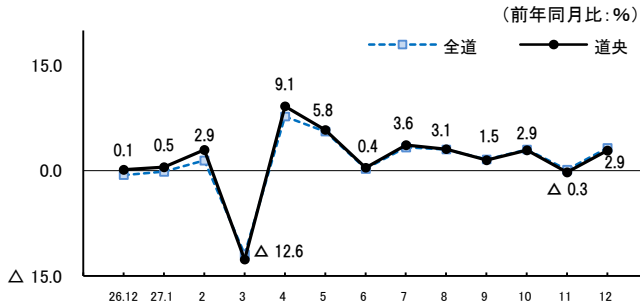
68か月連続で前年を上回った



■道央圏

◆百貨店・スーパー販売額(12月)◆

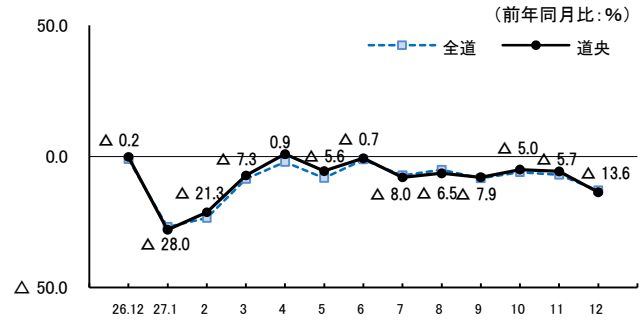
(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

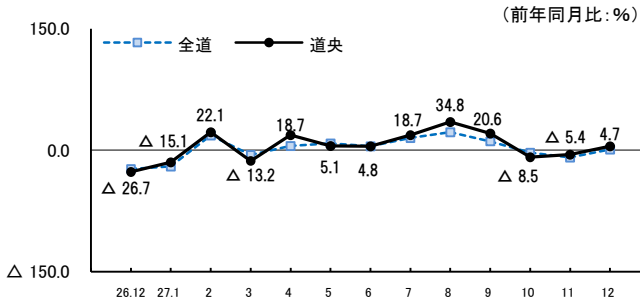
8か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

3か月ぶりに前年を上回った

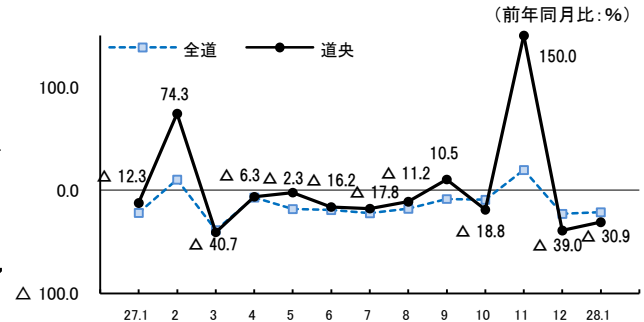


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

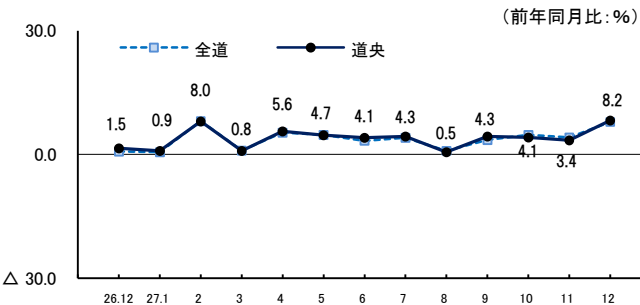
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

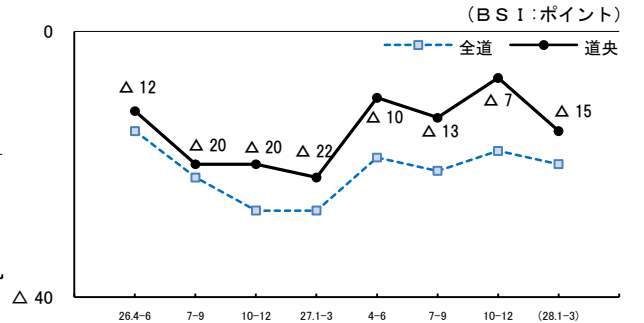
18か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



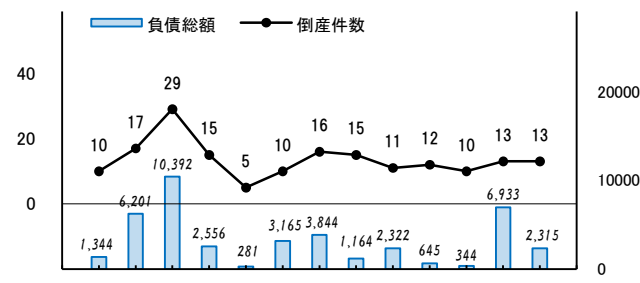
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

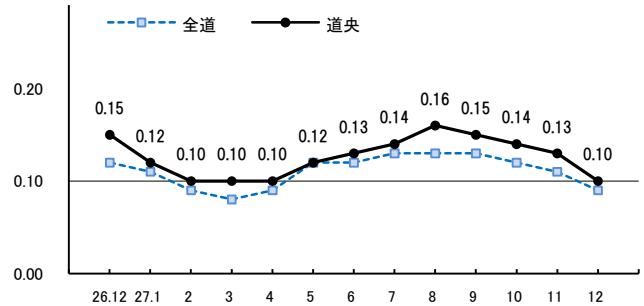


(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率(12月)◆

70か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

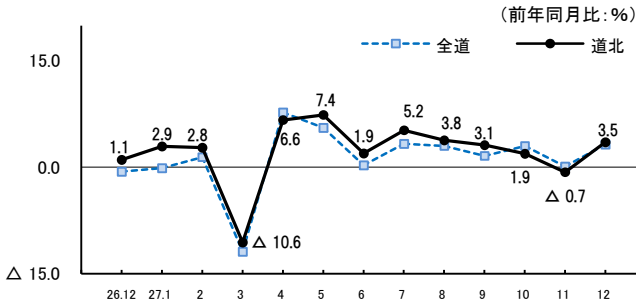


(北海道労働局調べ)

■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(12月)◆

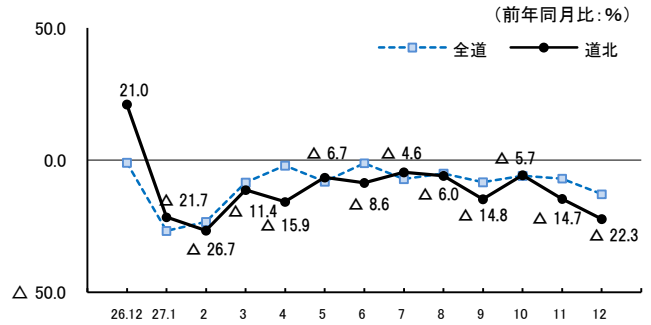
(全店、旭川市)
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

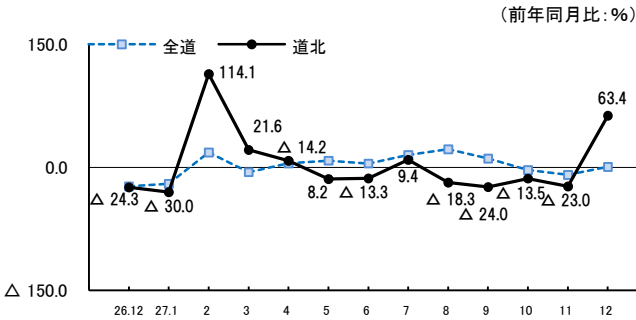
12か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

5か月ぶりに前年を上回った

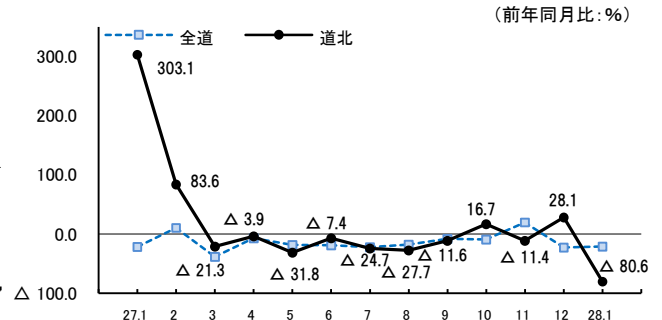


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

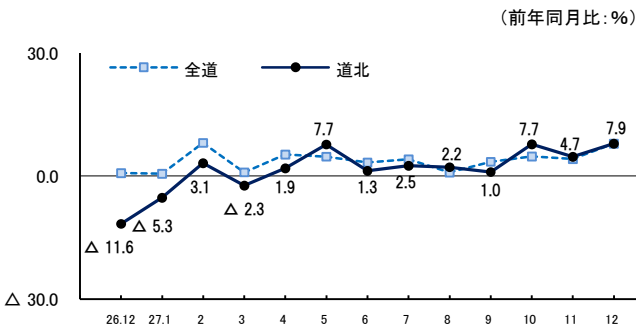
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

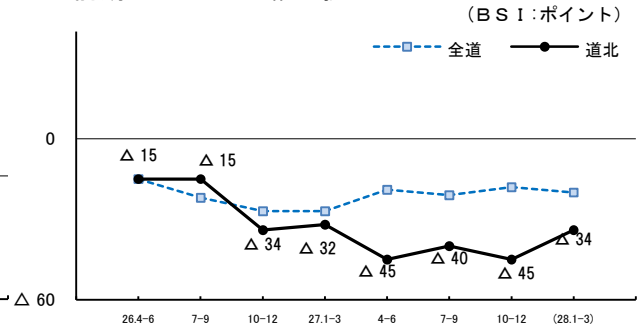
9か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



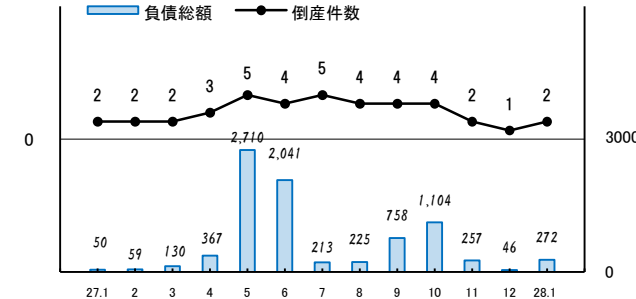
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

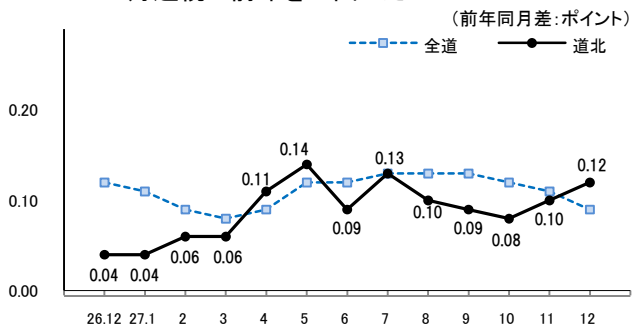
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(12月)◆

72か月連続で前年を上回った

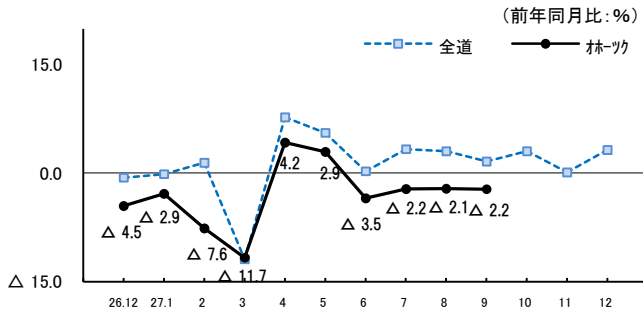


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(9月)◆

4か月連続で前年を下回った

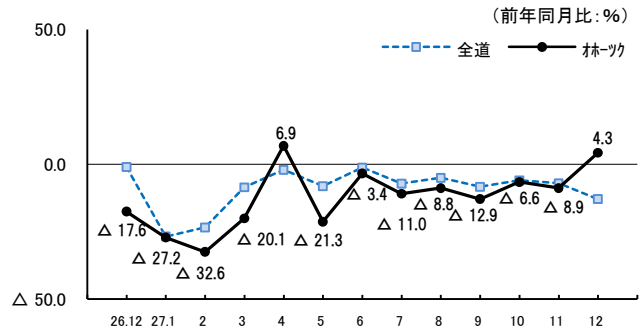


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

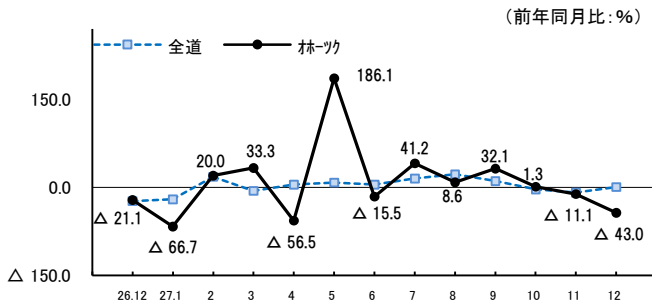
8か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

2か月連続で前年を下回った

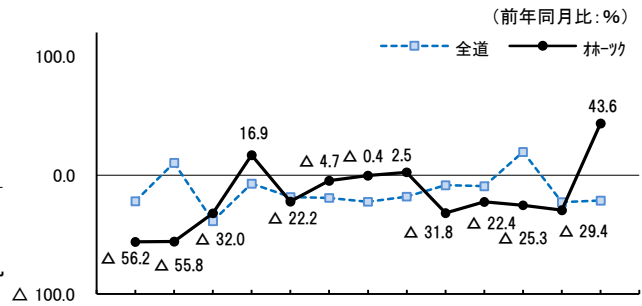


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

5か月ぶりに前年を上回った

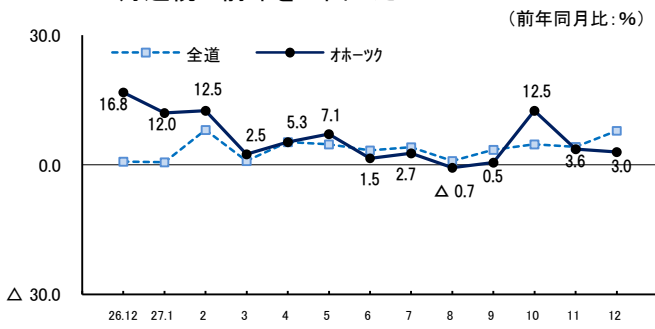


(北海道建設業信用保証(株)調べ)

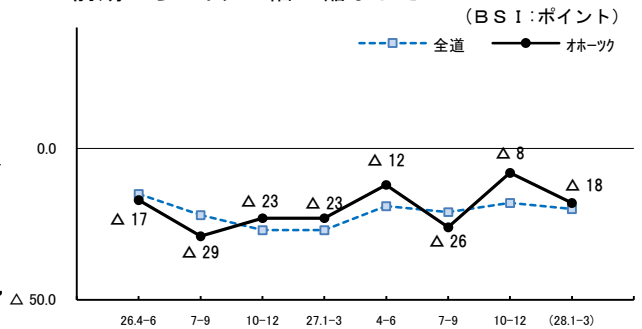
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆ ◆企業の業況感(10-12月期)◆

4か月連続で前年を上回った

前期からマイナス幅が縮小した



(北海道観光振興機構まとめ)



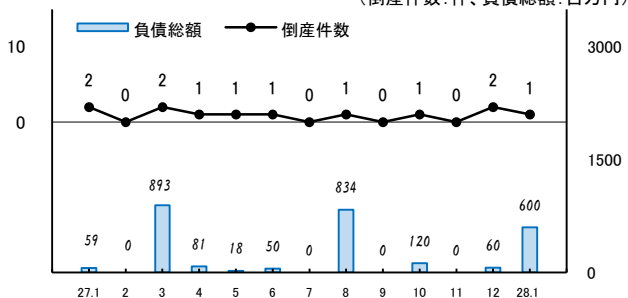
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

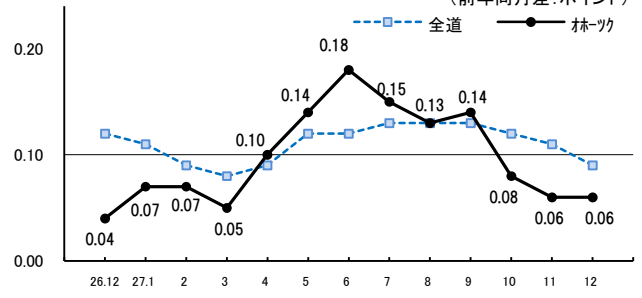


((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(12月)◆

75か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)



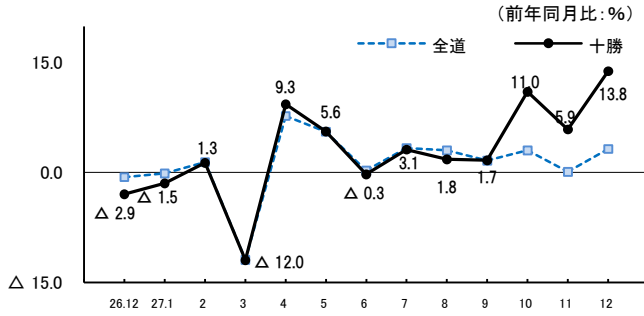
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(12月)◆

(全店、帯広市)

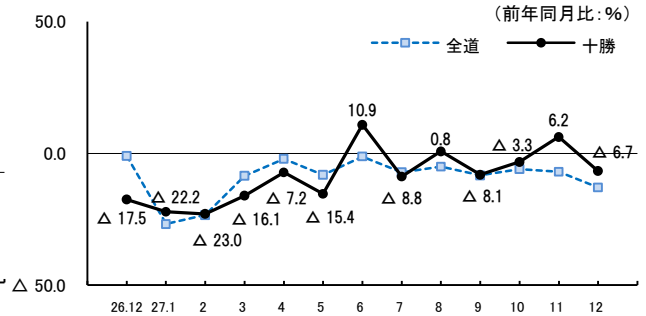
6か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

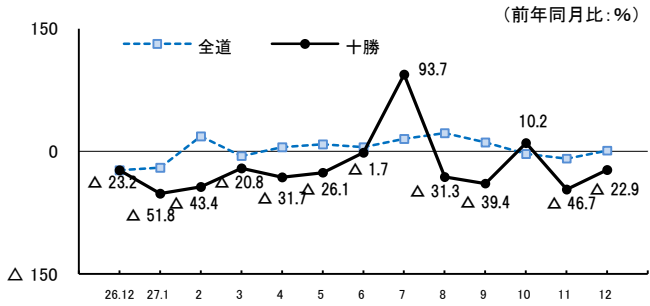
2か月ぶりに前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

2か月連続で前年を下回った

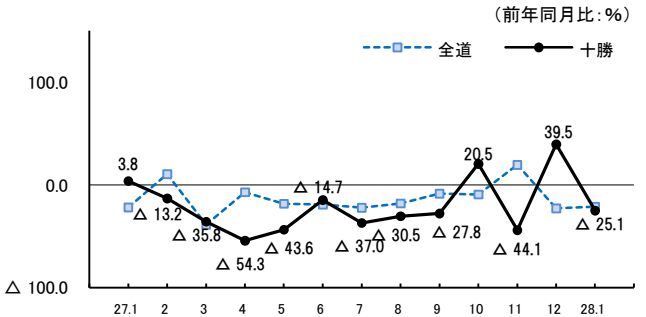


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

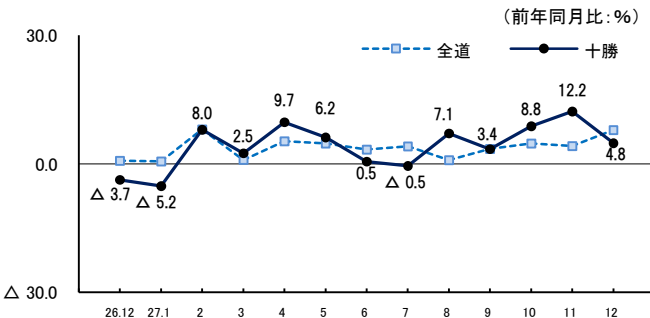
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

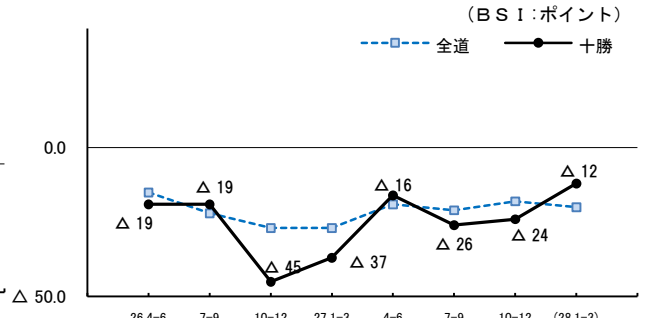
5か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



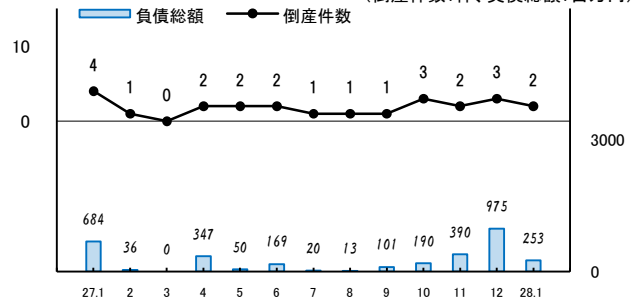
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

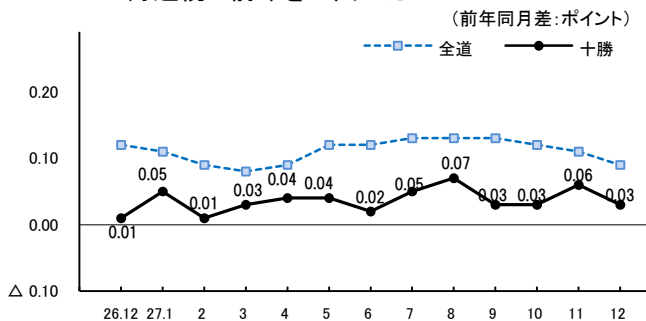
(倒産件数: 件、負債総額: 百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(12月)◆

13か月連続で前年を上回った



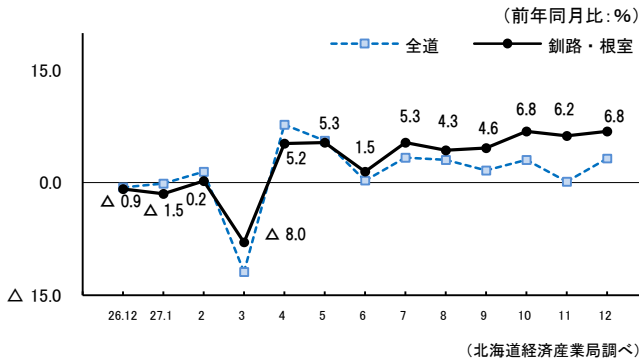
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

◆百貨店・スーパー販売額(12月)◆

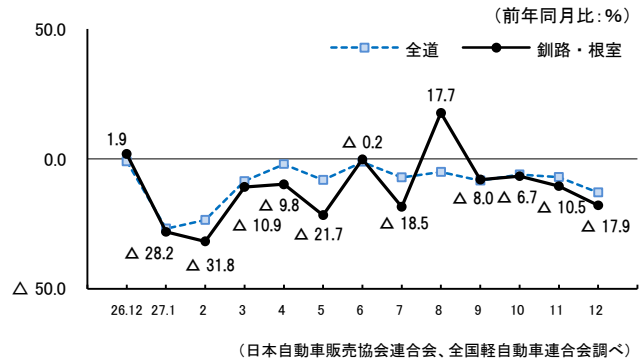
(全店、釧路市)

9か月連続で前年を上回った



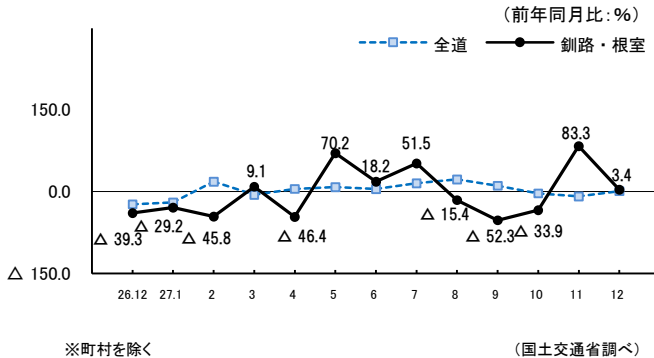
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

4か月連続で前年を下回った



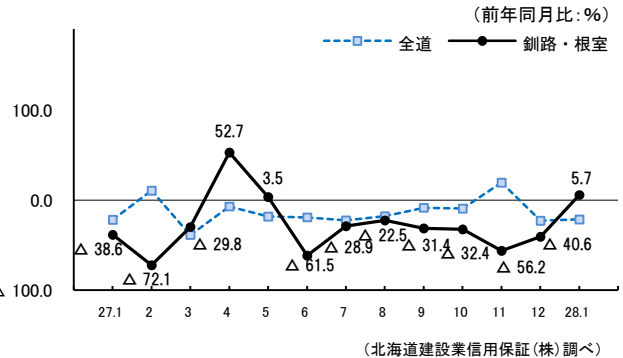
◆新設住宅着工戸数(12月)◆

2か月連続で前年を上回った



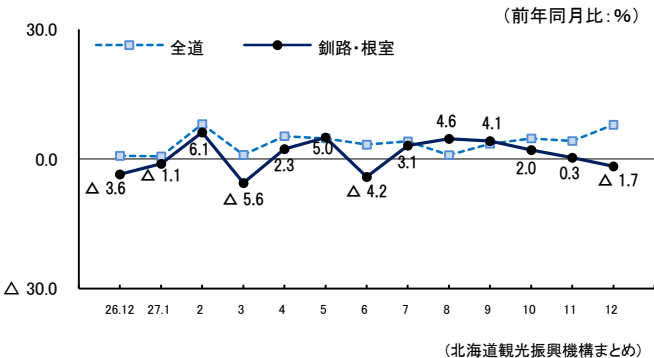
◆公共工事請負金額(1月)◆

8か月ぶりに前年を上回った



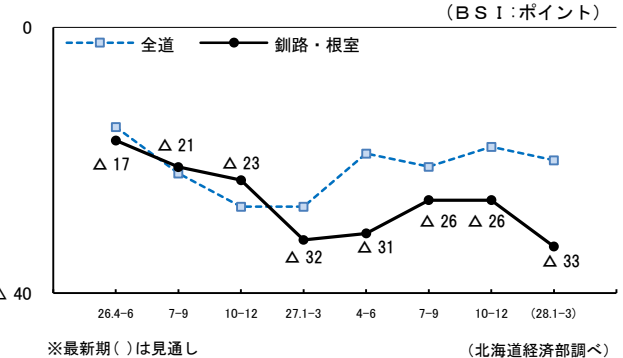
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

6か月ぶりに前年を下回った



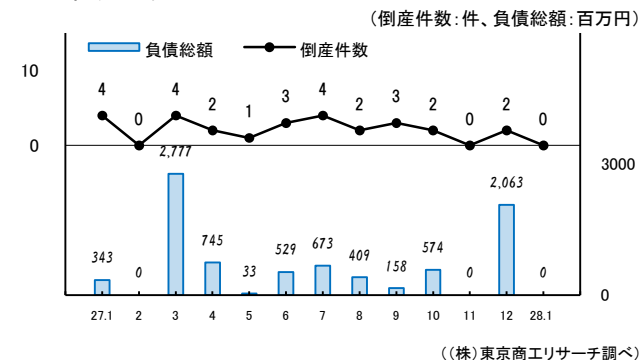
◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期とマイナス幅は同水準だった



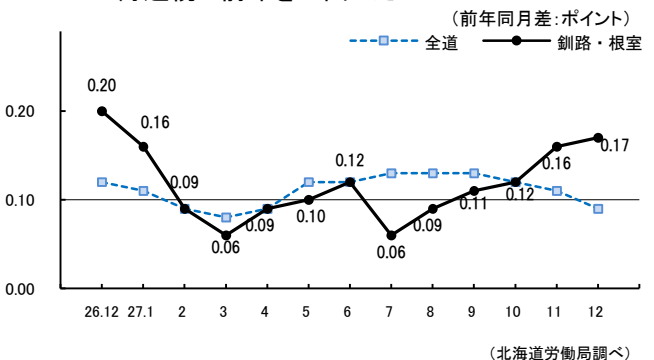
◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(12月)◆

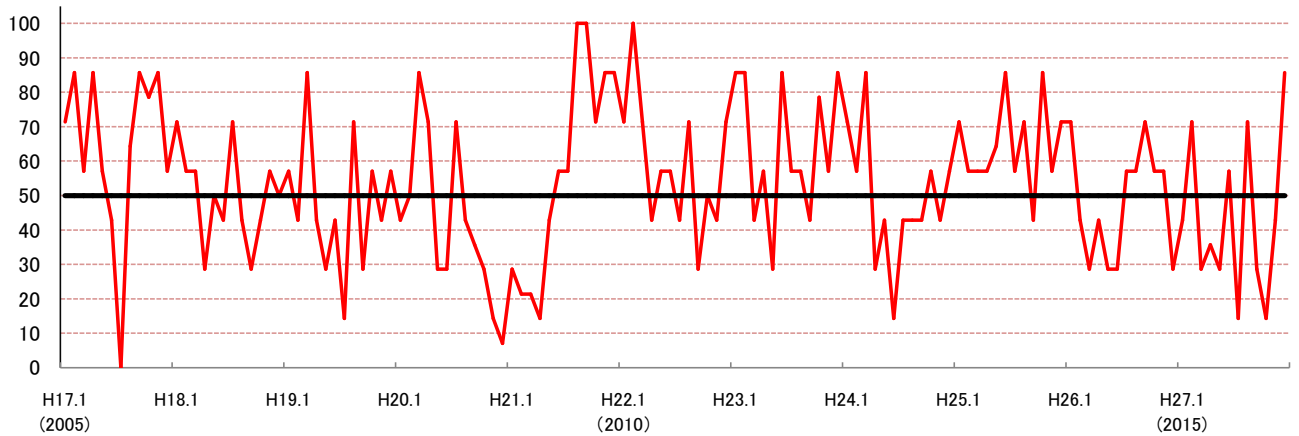
73か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	-	-	+	+	+	-	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-
	生産指数(生産財)	-	+	+	+	-	-	-	-	+	-	-	r	p
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+
	新設住宅着工戸数	+	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	-
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+
	拡張系列数	3	2	2	2	4	4	5	2	4	3	4	4	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	28.6	57.1	42.9	57.1	r 57.1	p 57.1
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	+	-	-	-	+	+	-	-	+	-	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	r	p
	出荷指数(生産財)	-	-	+	+	0	-	-	-	+	-	-	r	p
	大口電力使用量	+	-	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-	+
	百貨店販売額(既存店)	-	-	+	-	+	+	+	-	-	+	-	r	p
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	r	p
	拡張系列数	2	3	5	2	2.5	2	4	1	5	2	1	3	6
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	14.3	71.4	28.6	14.3	r 42.9	p 85.7
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+	
	完全失業率(逆サイクル)	-	+	+	+	-	-	-	0	0	-	-	-	+
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	0	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	+	+	+
	生産指数(資本財)	-	+	-	+	-	+	+	+	+	-	+	r	p
	拡張系列数	0	4	3	3	0	2	2	2.5	3.5	3	1	3.5	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	50.0	70.0	60.0	20.0	r 70.0	p 50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成28.2.25)から抜粋>

最近の経済動向
平成28年2月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>